

教育振興基本計画の策定受け 4つの基軸で本市教育行政を推進

議員 我が国の教育行政は、教育基本法をはじめとする教育関連法の改正等により大きく変化しようとしているが、本市における教育行政はどのように対応していく考えなのか伺いたい。

教育長 平成十八年十二月に教育界の憲法ともいわれる教育基本法が改正され、平成十九年には、学校教育法をはじめとした教育関連三法が改正された。また改正教育基本法に明記された、教育の目標や理念の実現に向けた教育振興基本計画が平成二十年に策定された。本市では、これらの法律の改正や計画を踏まえながら、毎年度、教育の方針を定めて事業を実施することとしている。

議員 本市の具体的な教育の方針についての考えを聞きたい。

教育長 本市の教育の方針の基軸として、①はじめに子どもありきの教育、②豊かな人間性を育む教育、③地域に根ざした教育、④相互理解を基調とした教育行政を据えている。教育は継続的な営みであることから、この教育の基軸となる部分が揺らぐことがないよう、これまで進めてきた教育施策に、さらに新たな思



AETを交えての授業風景(金田小)

子どもたちの道徳的実践力 ボランティア活動等通じ向上

議員 地域の教育力が衰えたといわれて久しい。道で会っても挨拶をしない人が増え、また、身勝手な理由から他人を傷つける事件が後を絶たない。このようなことから、小中学校での道徳教育が重要と思うが、本市の考えを聞きたい。

学校教育長 いじめや

非行等に見られる児童・生徒の問題行動や生活の乱れは、心の教育や道徳教育にかかわる問題であり、これらは、子供たちに限った心の荒廃というよりも、大人を含めた社会の在り方に関係しているものと考えられる。このことから、道徳教育の充実と児童・生徒の道徳的実践力の育成が重要であり、特にボランティア活動や自然体験活動などの豊かな経験を通じ、児童・生徒の道徳的実践力を高めると考えている。

**郷土愛する心の育成
市歌等の効果に期待**

議員 母校や郷土を愛する心を育てる意味からも、子供たちがあらゆる機会を通じて校歌や平塚市歌を歌うことには意味がある

と考えるが、見解を聞きたい。

学校教育長 母校を愛する心、また、郷土を愛する心を育てる指導は、児童・生徒が尊重すべき価値は何かを考え自発的に「心構えの指導」であると考えている。母校の校歌や市歌が、こうした「心構え」の役割を果たすことを期待し、学校生活や行事等の中で歌われるよう働きかけていきたい。

平塚市民共有の財産 文化財の保護・活用の考え問う

議員 平成十六年七月に国の登録有形文化財となつた「旧横浜ゴム平塚製造所記念館」が八幡山公園に移築復原され、平成

二十一年四月に開館予定だが、本市における今後の文化財活用の基本的な考えを伺いたい。

社会教育部長 市内に残る数多くの文化財は、市民共有の財産であるという考えから、有形・無形



移築復原された旧横浜ゴム平塚製造所記念館

の文化財を保護し、将来にわたって保存・継承していくとともに、積極的にこれら文化財の活用を図ることが大切であると考えている。また、市民との協働でまちづくりを進めるうえでも重要なものと考えている。

議員 文化財の指定に関して、市民に分かりやすい基準が必要だと思ふが、本市における指定基準を聞きたい。

社会教育部長 本市の文化財保護条例における文化財の定義では、「歴史的上又は芸術上価値の高いもの」となっており、文化財保護法の条文にのつたものである。基準適用の際には、平塚市文化財保護委員会の指定に関する審議を経て、所有者の意思を確認したうえで指定を行っている。今後、明確な基準が提示できると見られるが、必要と考

えている。

**本市ゆかりの文化人
市民へ情報発信を**

議員 童謡「ぞうさん」などで知られ、日本を代表するクラシック音楽の作曲家である團伊玖磨氏は、本市の「平塚市歌」、「マーチセツ」などの作曲を手掛けている。本市に音楽という無形の文化を提供した氏の功績を顕彰し、市民へ情報発信すべきと思ふが、見解を聞きたい。

社会教育部長 本市のかかわり等について、今後さらに調査、研究を進め、本市ゆかりの文化人としての團伊玖磨氏の存在を広く市民に紹介できるように、折に触れて情報発信に努めていきたい。

食文化の継承や健康づくりへ 米飯給食 回数増への課題を聞く

議員 米飯を中心とした日本型の食生活は、健康づくりや食料自給率の向上等の面から重要と思ふが、本市の米飯給食の現

状を伺いたい。

教育総務部長 児童の健康保持、体位向上のため、「学校給食実施基準」、「一食当たりの平均所要量基準」に基づき献立を作成し、栄養バランスの取れた学校給食の提供に努めている。米飯給食の回数の増加については、学校給食検討委員会で検討し、二十年度は十八年度と比べると五回増え、年間八三回、一週当たり二・三回の実施予定となっている。

議員 米飯給食の回数を増やすうえでの課題は何か聞きたい。

教育総務部長 米飯給食の献立は低カロリーであるため、明確な基準が提示できると見られるが、必要と考

えている。

米飯給食の回数が増えるためには、米飯給食の実施回数は制限される。今後も可能な限り米飯給食の回数の増加に取り組みしていきたいと考える。

市議会を傍聴してみませんか

次回開催のお知らせ

- ・11月25日(火) 定例会本会議(提案説明)
- ・12月4日(木) 定例会本会議(総括質問) ~9日(火)
- ・12月11日(木) 総務経済・都市建設常任委員会
- ・12月12日(金) 教育民生・環境厚生常任委員会
- ・12月18日(木) 定例会本会議 最終日



◇湘南ケーブルネットワーク(SCN)で定例会本会議の様子をテレビ放映しています。

※生中継は午前10時(予定)から2チャンネルで、録画放映は当日の午後7時(予定)から9チャンネルでご覧ください。

編集後記

朝夕、肌寒くなりました。十月は年に一度、日本中の神々が出雲の国に集まる月であるといわれ、神無月とも呼ばれます。日本人科学者四氏に相次いでノーベル物理学賞と化学賞の受賞が決まる一方で、米国の大手証券会社の破綻に端を発した世界的な金融危機が、日本経済にも大きな影響を与えている。今、世界の動きは「神のみぞ知る」ような状況にあります。さて、市議会九月定例会

会においては、まさに将来の平塚のまちづくりを決する重要な議案について、白熱した議論が交わされました。今後も、皆様に正確な議会情報をお届けするため努力してまいります。よろしく申し上げます。

編集委員 須藤量久 伊東尚美
山原栄一
議長 落合克宏
副議長 松崎清子
☆ 事務担当は、議会局調査担当 電話「三三一〇一一(内線三三六七)です。